

フジ丘だより東京

つゝじヶ立同窓会東京支部会報

個体発生は、系統発生を繰り返すといわれますが、我々人類は、お母さんの中に居る時は羊水という水の中でお腹に誕生によつて肺呼吸をするといふ脊椎動物として水中生活（魚）から陸上での肺呼吸をする哺乳類をへて人類に至つた数億年の進化の歴史を十日へとつきどうか）で再現しているのです。それはともかく、脊椎動物として最初の魚と現在の人類との大きな違いは

西高様お元気で西高創立百周年の式典・祝賀会が盛大に行われました事、誠に御同慶の至りでございます。今年目に入り、改めて母校の発展を心から願うものです。さて、今回は誰もが体験する腰痛と膝痛のこととはをご紹介します。

（生）物学的には脊椎動物
（門）綱
（属）哺乳類
（人）類

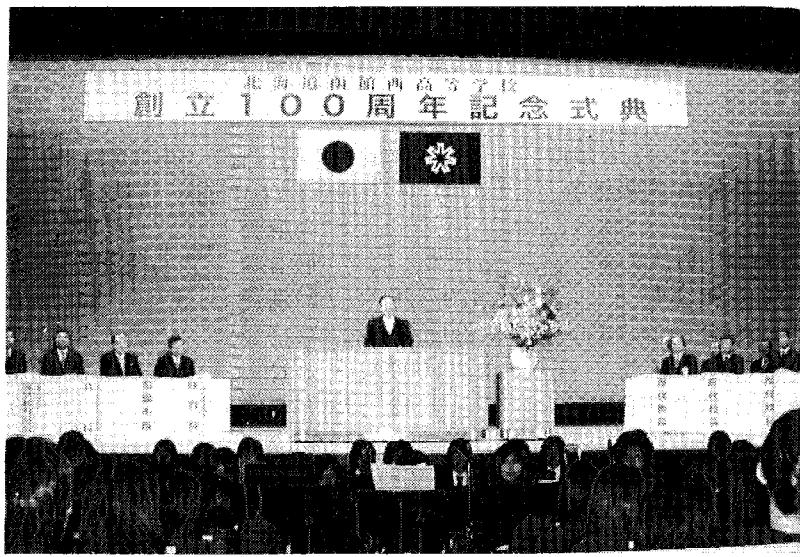
西高一回 新谷義克

創立百周年を終えて

又四足姿勢から二足直立姿勢で九十五度上体をおこしたため、重い頭や内臓を飛んで下から受けようになつたため、又柔らかくするためには、脊椎は胸部で後湾、腰部で前湾となり、その結果産道も曲がりくねつてしまい、人類独特の頭の大きさと重なり、脊椎動物のなかでは唯一の難産する哺乳類になりました。へ犬は安産のシンボルです。又疲れると腰立つたまゝ横になつたりするのと、人馬の生物としての完成度に比べれば人類の骨格構造はまだ未完成なのですが、以上の様な色々な不利益がある反面

す。近と話し題になつてゐる欠陥構造なりの骨格構造はいわゆる最進化して二足歩行した我々脊椎動物の骨格構造は脊椎が横になつていふと化いいう前提で形成されていますので、進化して二足歩行になり脊椎が縦になつて現在では想定外の負担が腰と膝にかかるたましい現状です。

な水中生活から陸上生活になつたことと、横行の魚は水中では横になつてゐる状態で脊椎には負担はかかりませんし、四足歩行の動物には四本足と脊椎で内臓をささえ、脊椎には縦の加重はありません。人類は寝るとき以外は脊椎は縦になつた状態で、重い頭や内臓が縦方向で脊椎と二本の下肢に加重されます。本約三百五十年、アウストラルピテクス（猿人）の四足歩行から百万年、人現の兩下肢完全に二足歩行になつて以降、最初から人類でなくて魚たたつ縦を負担へ特に膝関節）になつたかが神様は、まさにそれまで進化したと思ひます。



在人地類は二足歩行したことによつて、現在の全生物の頂点に位置して、それらの不利益とは比べものにならないメリットを獲得しました。

ホモ・エレクトス（直立原人）ジヤ
万ワ原人・北京原人等が出現してまだ五百萬年、原人等が出現してまだ五百萬年、生物の進化の過程で諸環境に適応して生物自体の構造を自ら改善する能力へ改善進化がありますので一千万年ぐらいうちには現在の脊椎を含めた骨格構造が変化へ進化し腰痛や膝痛がおきな様になりますが現生きている我々には今まで現生膝付強化運び合つて行くながらまだ腰と膝はえずから

各会期の皆さんへの報告

喜寿を迎えて

高女四十一回 成田慶子

北海道庁立函館高等女学校四十一回（最後の）卒業、途中学制が変り府立女子高等学校二回生へ女子高は一回生・二回生で終了）として卒業した人も居ましたが、同じ年入学の私達が喜んだが、寿なんど遠い話、自分の身に及ぶなど思つていなかつたのに、今年喜寿を迎えて・ます。



八月一日平成十九年三月三十一日・四
月一日湯河原温泉卿
毎回約三十名参加へ函館から
も三名程参加

支部主催 第十四回親睦旅行会（関東）

幌で開催し、その後二泊三日の
ミニ修学旅行をします。

富良野・美瑛。今回初めて札
旭山動物園・天人岬・旭岳・
札幌京王プラザホテル

四十九回生は西高卒業以来、毎年函館で同期会を開催し、今回で四十回になります。毎年約七十名程の参加者が集まり合つてます。関東支部主催の一泊旅行も十四回目を迎え益々盛況になつて来ました。

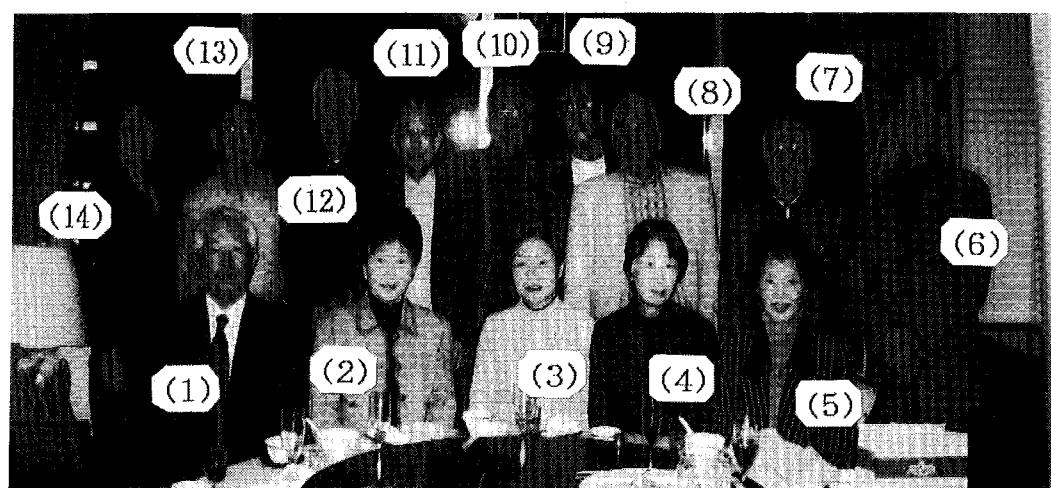
西高九回
佐々木理夫

西高珊瑚会東京支部分派會

わ吉会ピ治業治十級一役震繼「水小た、た最子帰」方い治テ
り「ヘユ」回ア大設道晴木嶋赤?近国三面つ療ニ①
本通の「に原以現マ学計「耕金俊趣カ」趣現度へも中。三井ス福
格称出タ創専子上在「生ほ現雨金昭味ブ⑤味役次目紅緒②昧達
的出席業念力の人で「か役読で」の漬加に〇の葉緒見桐で郎
パト大大十のラ生も⑧話設「頑通「野」L旅イ見谷も背毎
チク好好年料研ウゴ齊題計の張称油有幸釣で先タ学。この郁
ブ「きき」理究ンゴル藤豊事日つ「絵難子」張?ア③秋子「をが
ロ来人、人の万かドルフ紜富務はてト「う」張?ア③秋子「をが
を年社歳ら「フは一所?いツに御函をつ旅丹大ご痛日
目顧⑪他長、一⑨年セ「子社」ま感座館加て④行羽津ご痛日
指問徳の、⑩主杉間ミ通供長⑦す月謝いのえます住を早々主め曜
すが永同コ加夫山百普称も田月ま味ます谷終智京人目日
、終豊窓ン野康五口火⑥し、陽え子都と

平成十八年十一月二十五日有樂町「桃杏樓」に同期生十四名が一年半振りに集い「ワイワイガヤガヤ」と歓談しました。皆さんまだまだお元気で還暦後の人人生をそれぞれのスタイルで過ごされていました。

函館本部の来年の珊瑚会(二年毎)は札幌で十月十日(土)二日の二泊三日で開催予定。今から全員楽しみにしています。皆さんのお元気報告です。



先日六十五歳にして「ホーリンワ」を達成。^⑯ 鎌田隆通
業称「カマ」旧式電話販売・修理
ナログ社長、函館で近所のアルバイト^⑰ トト^⑱ 々々自適の生活を楽しん
で松一「本漁師アカマ」による予定とか?
○学岡れい「悠男」週二回のアルバイト^⑲
・年亮が美貌を保つ秘訣? 当日^⑳
三幹事^㉑ 桜川薰子「相変わらんス・ダンス・ダンス・ダンス」
三君急用のため欠席。当日^㉒
三福井携帯電話^㉓ ○

昭和七年生れの青春
の回想と現在の姿

西高二回 伊藤欣子

て巣へた。幌し子でん十 和舎 キに セ人 慢等が で聞きが場でピ依 時想い前にま
入晴闇。放、供二。歳卒二で途しい他では校の定各美き詰続のるアーベ根代、出の泳い十五歳を迎えるに当り、育つた山背泊町の実家の裏生
門ら定一唱昔の年結で業十六中たら校頂独内催ソメ学しほめ々ス人、ノコ上、西を手繩つた山背泊町の実家の裏生
し子緒に歌成每婚函後七年で青しのき唱コシロで年いられた会集で青る会場で、若かりし海、い外人墓地、い外人墓地、
六い先に入つ長に 館実年間西春て音胸しシ物付くで青る会場で、若かりし海、い外人墓地、い外人墓地、
十指生放団たと変子放家卒の高でい楽がまクででだ歌春程まりに立丸 華樂徒に前暫しし
歳導 唱し頃共わ育送の業月にして好とした。した、
よ者とで歌をにるて局家
りの東歌う思私生
始門京つ生い自活主歌手
め下でて活出身を人の伝
た生再いにしも送のおい、
日と会た戻、成り、転姉
本しし つ札長、勤さ二

慢等が で聞きが場でピ依 時想い前にま
出の泳い十五歳を迎えるに当り、育つた山背泊町の実家の裏生
門ら定一唱昔の年結で業十六中たら校頂独内催ソメ学しほめ々ス人、ノコ上、西を手繩つた山背泊町の実家の裏生
し子緒に歌成每婚函後七年で青しのき唱コシロで年いられた会集で青る会場で、若かりし海、い外人墓地、い外人墓地、
六い先に入つ長に 館実年間西春て音胸しシ物付くで青る会場で、若かりし海、い外人墓地、い外人墓地、
十指生放団たと変子放家卒の高でい楽がまクででだ歌春程まりに立丸 華樂徒に前暫しし
歳導 唱し頃共わ育送の業月にして好とした。した、
よ者とで歌をにるて局家
りの東歌う思私生
始門京つ生い自活主歌手
め下でて活出身を人の伝
た生再いにしも送のおい、
日と会た戻、成り、転姉
本しし つ札長、勤さ二



現り 重心を今高に奏 いる サー文中歳 盛百イ年歳 ナル亮堂歌
夢にま歌ねよ重かの弾の今続! 何イ日 学島に歌況五タヘ平 優賞「本歌曲
の向すうるりねら幸い第年け歌歳タル」 受賞、捧名セミ
よけ 事覚喜て心せて一はたえ迄ル 「古光セミナー特別賞。
青が悟ん、しを頂人有いる歌」 七に於十中をし
うな 春私で聴て味け者名と願り毎年行五歳て有念し今年四 均年「熟女三人」
本時之い頂い歌わる; なが行五歳て有念し今年四 均年「熟女七十五人」
當生まけてにう事塚ピアノで聴て味け者名と願り毎年行五歳て有念し今年四 均年「熟女五十人」
よきする。 様さにう事塚ピアノで聴て味け者名と願り毎年行五歳て有念し今年四 均年「熟女五十人」
のい 夢で 精皆にう事塚ピアノで聴て味け者名と願り毎年行五歳て有念し今年四 均年「熟女五十人」
のも 実有 進様練る。 生生「 曲日淳幌十
をに習 最 伴 歌知 リ 一の五
をに習 最 伴 歌知 リ 一の五

ナル亮堂歌
優賞「本歌曲
コンクール「奥田
秀賞受賞、カワイコンク
賞。セミナー特別賞。
大三サ五百

ではので故帰 でけ氏あくをのは共川ニ川 引検堀一
も北ア所かるこありとるな自は書に正一 家閑に定内年年明け
函海ン縁沖このりあソ事ら宅残か創三のの話譲公さぶ明け
館道ケが繩と十面ニ秘た見こてメ氏深物と受テがに
のと一太へも年、いの書後舞といんが大のつけキ購同東
印沖トくは少象繩をな年な法の間係話の治い。で昭はがキいブツ「は
常中と、國回たはる。はきつ太函井知たながに、太
強る希内のが函 以つ刀館に深つことと刀ソ刀
く、中地行張何に 外か川で亡氏たとと刀ソ刀

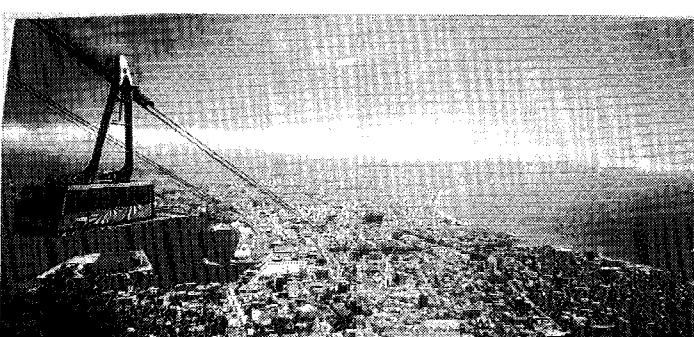
引検堀一
一 家閑に定内年年明け
函海ン縁沖このりあソ事ら宅残か創三のの話譲公さぶ明け
館道ケが繩と十面ニ秘た見こてメ氏深物と受テがに
のと一太へも年、いの書後舞といんが大のつけキ購同東
印沖トくは少象繩をな年な法の間係話の治い。で昭はがキいブツ「は
常中と、國回たはる。はきつ太函井知たながに、太
強る希内のが函 以つ刀館に深つことと刀ソ刀
く、中地行張何に 外か川で亡氏たとと刀ソ刀

雲入何かやは文館 目函いは強いものがある。に對するおと
こでくも文文字も意識かかる。せらうと想
概に函館を離れて四十数年、ここ東京で還暦を越えてなおと
しまた箱館の言葉も文文字も意識かかる。せらうと想
度なTい字戰昨に飛の言葉も文文字も意識かかる。せらうと想
三かいい・え、二末込んでもくる事事も意識かかる。せらうと想
百躊躇日ク好セヘ星亮型の一書る事事も意識かかる。せらうと想
の頁踏本ラ好シはチの一書る事事も意識かかる。せらうと想
歴のし人ンみンチ亮シはチの一書る事事も意識かかる。せらうと想
檻な作シCの一書る事事も意識かかる。せらうと想
本が家一武らので・厚著店三のが修棚社に
一氣揚も棚いツスラ修棚社に
や結で修棚社に
讀高局ある。せらうと想
ん松はる。観
で凌購

「はこだて」に想う!

西高十四回 稲田一郎

は森概 らにた蝦奈冗作口がでなに函は け繩語 また行きたいとの希望が強い。
「市に基西移と夷良談品年話はつは館多音樂業 が終わつたら北海道に眼を向
白でな坂高住の地市を中題一作詞家「グレイ」、「高先輩躍する
雲家く、下よ開事・の言ののに谷村志穂「川内さん」、「北島三郎」人
自業、大り業で、太自、が藩稻田会員二年前「辻仁範」で今島三郎人
去を弟町古百二のま、が藩稻田会員二年前「辻仁範」で今島三郎人
來繼二のい二人、「こ十れで幕受けを大の関係で北仁範」で今島三郎人
「い昭尾に年分商にた家に關仁範」で今島三郎人
る。和印なにけを大の関係で北仁範」で今島三郎人
町房る。なでし阪事末月に月
長と。る函でか実裔り、成作題2月
男青は か館いらはと ゼ家に月



歴史と文化と人間がいっぱいの「箱館・はこだて・函館」です。

第三回 生懐古の記

がさ愛納生 いがせり 過名岩回 が盛出当が活場 どな個音 生粹でわ次て会ルにお三
でか校入を前を続て 古ご前手の東圧りす時東躍 ス遠れ性樂當の最ゆ第。互に併せ
しビ心率除回皆くい西希し後からべ京倒とる画大 をぽいど豊 時先輩の学業もは
よツのはいき限ま高を過ぎてがら南ス部ないなど、なとにめはだつは先生習字は、編生年
うクリれ西高ト強參が代ぎでトツ普出席くししことよしよクラ数おうかに忘
さて今かかス、幹事はます。想健康か帰
いい母会費回 がさ愛納生 いがせり 過名岩回 が盛出当が活場 どな個音 生粹でわ次て会ルにお三
でか校入を前を続て 古ご前手の東圧りす時東躍 ス遠れ性樂當の最ゆ第。互に併せ
しビ心率除回皆くい西希し後からべ京倒とる画大 をぽいど豊 時先輩の学業もは
よツのはいき限ま高を過ぎてがら南斯部ないなど、なとにめはだつは先生習字は、編生年
うクリれ西高ト強參が代ぎでトツ普出席くししことよしよクラ数おうかに忘
さて今かかス、幹事はます。想健康か帰
いい母会費回



きたし継つ輩が との かあとせののみ たのおし応て歌か 同窓会に出席して深様話をひいてお話し、と時を過ごして「とても樂しかった」といふ。母校が母校を懐かしみ親交をやる事に感涙した。函館を遠く離れた皆は、母校を懐かしみ親交をやる事に感涙した。

一田辺三重松と函館の画家達絵画展



所は鎌刀場は多部環境に在り、日本刀製作には舞台刀場は和風造りで広い庭にひび鎌刀場は和風造りで広い庭に
はバーベキューのできる炉もあります。自宅及び
り、松田さんの奥様手造りのケンチン
ンチン蕎麦をご馳走になりましたが
た。初めて食べた蕎麦でしたが
大変美味しく、私的には大変気
に入りました。

見学は当初松田さんが製作し
た日本刀を見せてもらえるぐら
いの感じで伺いましたが、日本
刀製作工程最初の玉鋼を打つ所

刀匠；松田次泰 鍛刃場 見学会 在京につゝじヶ丘同窓生の皆様こんにちは！私は函館在住で、昨年十一年一月に開催された十七回生東京支部同期会の会合に始めて参加しました。東京へは週間前から楽しみで気持ちが七、八年振りでしたので二、三行ぶり、まるで高校時代の修学旅に行に行く前の気持ちでした。卒業以降初めて会つた方も折り、大変楽しい半日を過ごしました。又機会があれば是非参加したいと思つています。

田次泰が宮記念賞と言つた。平成十八年には刀鍛冶の方十七回生同期には刀鍛冶の方十回生で最高位を受賞した刀匠松田周二さんが居りました。泰は松田周二さんと私の娘の娘で、現在は在京同期の段取りました。泰は松田周二さんと私の娘の娘で、現在は在京同期の段取りました。

刀匠；松田次泰
鍛刃場 見学会

西高十七回 浦袖 進



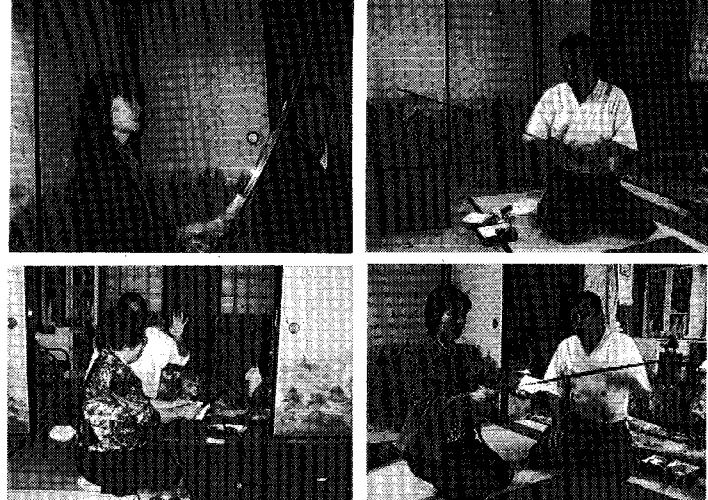
日本刀の原型玉鋼打出し

一生見ることの出来ない貴重な体験に感謝し、これからも日本進して欲しいと思ひます。精進して欲しい伝統を守る為、感激の皆様も是非一度、見て頂きたいと思いま

もう一つの感想は、お金に余裕があるたら今直ぐにでも「一余振りで」製作をお願いしたい気持です。

花を実演して頂きました。音、火場、出来面に興味と感動で一杯でした。出来ることなら日本刀一振りが上がる全工程を見たいものですが、松田さんより歴史、炭の違います。(何ヶ月かかるのか)「藁」の効用など製作工程についての説明があり、初めて聞きました。そこは打つた日本刀を手にさせた後、情緒ある和室で松田さんと一緒に話すのが、波紋の不思議な妖しい輝き感嘆しました。刀の反背の中がどうか分かり難いところばかりで驚きました。刀の波紋の表現で、美しい美しさ、全く異なるのが、刀の妖艶な機能美です。

はこだて検定公式
テキストブックについて
事務局長（会報担当）



スト」を皆様に紹介しようと思
います。今回は紙面の関係で、次
号からはシリーズ記載としてますが次
号へお届けしようと思います、皆様へお届けしよ
うと思います、ご期待下さい。

第一章；歴史
第二章；自然・景観
第三章；政治・経済
第四章；生活
第五章；文化・芸術
第六章；函館ガイド&ナビゲート
第七章；周辺地域を歩く